

つながりがみつかる！つながりがはじまる！！

Twitter @center_i
HP center-i.org

いちのせき市民活動センターニュースレター アイデア
NEWS LETTER IDEA OCT 2011 vol. 6



idea

11



センターがやっていること

定例会議での支援活動

いちのせき市民活動センターでは、市民活動団体の会議にファシリテーターとして参加し、活動の活性化につなげるための会議支援を行っています。

NPO法人とーばんふうどくらの定例会にて、8月、9月、11月の計3回に分け、「とーばんふうどくらぶって何する団体?」「とーばんふうどくらぶにとつての光って何?」「フューチャーサーチ」のワークショップを行いました。

ファシリテーションの技術は、ふせんや模造紙、プロッキーなど誰でも気軽に使用できる道具があれば、市民活動団体の会議を行う際に活用することができ、「会の組織運営」「会の事業運営」などについてみんなで話し合いたいときに用いることで、意見を引き出し、モチベーションを高めることにつながります。

11月9日に千厩サテライトで行われたワークショップでは、これまで話し合いで決定した「会員宣言」と、「大切にしたいもの」が書かれたカードをもとに、組織の

ビジョンと事業のビジョンについて話し合いました。全3回のワークショップで出された意見と、これからのビジョンについては、センターでまとめ、次回の定例会での全員で共有する予定です。

多くの方の協力のもと、ワークショップを開催することができました。千厩サテライトとセンターの会議支援を利用いただき、ありがとうございます。



会議の「結論の質」と「納得度」を高められるように、ファシリテーターが支援を行います。

光の景観まちづくり事業 ～釣山公園紅葉ライトアップ事業～

11月4日（金）釣山公園の紅葉が、今年もライトアップされ、色づき始めた木々の葉が夜空に浮かび上がり、周辺は日中と趣を変えて幻想的な雰囲気になりました。

市のシンボリックな存在の釣山公園。しかし、散歩する人は多少いるが、市民の憩いの公園になっていない。夜は暗く人が近寄らない。そんな問題提起から、昨年度から一関市元気な地域づくり事業で、市の建設部と地域の人たちと釣山公園の在り方について話し合い、取り組んでいます。桜の時期は、ライトアップもされ、

たくさんの方が来るのに、なぜ紅葉には、人が来ないの？桜より紅葉こそが釣山の素晴らしさという声を、話し合いのもと、行政は行政で行うこと、住民は住民で行うこと、それぞれが持ち味を活かした初めてのライトアップから2年目。会議に参加していた住民が、釣山公園に係る地域の人も参加してもらおうと呼びかけ、昨年よりも関わる民区が増えました。また、ライトの数や点灯箇所も、昨年以上に趣向を凝らしました。自分たちの住む地域は自分たちの手で！まさに、話し合いが活かされ、互いの仕事を理解し、みんなが納得できた事業だと感じています。点灯箇所は入り口から頂上に至る散策路沿いの3カ所。毎日見ている人だからこそ知っている木を選

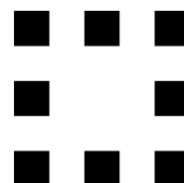
び、みんなで壊中電灯を持って点灯実験を行い、光の角度、ライトの数を41基に増設し、釣親区の菅原誠悦区長は「投光器を増やしたことで昨年より見応えある光の景観をつくることができた。桜だけでなく紅葉も美しい公園を多くの市民に知ってもらい、楽しんでもらいたい」と話していました。

この事業は3カ年事業で、来年度が最後となります。しかし、秋の釣山を彩るライトアップは、続けられることでしよう。4年目から試される地域力に向けて、地域の人たちは、動き出します。



ライトアップ光と紅葉の演出する景色が楽しめる釣山公園には、多くの市民が訪れました。





2 センターのやってること

NPO 法人と一ばんふうどくらぶ会議支援
光の景観まちづくり事業

4 みちのくワークショップフォーラム

「サラダボウルのあな」人間関係づくり
講師 熱海アイ子さん

5 地域づくり支援講座

会議が変わる進め方！
「コミュニケーションスキル」

6 てんとう虫・展3

工房てんとう虫の仲間たち
2011 年 11 月 5 日(土)～13 日(日)ギャラリー彩画堂

7 ファンスポルトー関

12 月のイベント・ボランティア情報

8 スタッフ紹介

地域のあれこれ勝手に紹介！
ぼっぼりなっとく納豆&炒め納豆

今月の表紙

千厩町小梨にあるかやぶき民家の「村上家」は、岩手県の指定有形文化財に指定されており、「心の落ち着くかや屋根民家」として静かな人気を集めています。11 月 6 日にはツアーも開催され、多くの人でにぎわいました。

いちのせき市民活動センター情報誌アイデア

いちのせき市民活動センターニュースレターidea は、市民活動がアイデアを持って NPO・行政・企業・市民との出会いの機会を創る情報誌です。センター情報をはじめ管内の市民活動団体情報や行政情報をお届けします。

ロゴマーク

一関、川崎、千厩、大東、花泉、東山、藤沢、室根、8 つの地域があつまったひとつの広場（スクエア）をあらわしています。

地域住民は何を必要としているのか、何をしたいのか、地域の課題は何か。自分たちができることは何かを一緒に考えます。

営業案内

開館日

月曜～土曜 9 時～18 時

休館日

日曜・祝日 年末年始

いちのせき

市民活動センター

〒021-0881

岩手県一関市大町 4-29

Tel&Fax:0191-26-6400



千厩サテライト

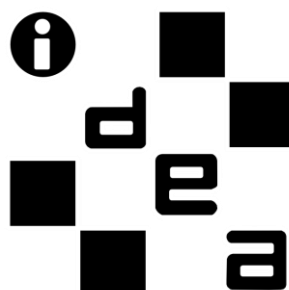
〒029-0803

岩手県一関市千厩町

千厩字本町 149

Tel:0191-48-3735

Fax:0191-48-3736



サラダボウルのあな

「人間関係づくり」

～多文化共生における自意識探りから～
平成23年10月8日(土)

ペアレント・プロジェクト・ジャパン
熱海 アイ子さん



レギュラー講座4

みちのく ワークショップ フォーラム

「多文化共生」の時代へ

「国際化、グローバル化の時代は過ぎ去り、お互いの異なる部分を認め合い、対等な関係で共に生きる時代に移り変わっている」と熱海さんは語ります。平成23年8月時点で、一関市の外国人登録者数は771人で、そのうち約半数は中国人です。また、知識を得る手段としての言葉が分からない子どもは、日常会話に対して学習用語を学ぶのに時間がかかるため、「振り回されてしまう」と語ります。

一関での多文化共生について学ぶワークショップは、心と体の緊張をほぐす「アイスブレイク」から始まり、ワーク、そしてふりかえりへと続きます。人間関係をつくっていくうえで重要な「違いを認め合う」として視点を当て、地域での事例に基づいた共同作業を通して、今後の関係づくりのヒントとなる「気づき」と「学び」につなげることを目的としています。

ステレオタイプに気づく

「人間は共通点を見つけてグループを作りたがる」と語る熱海さんは、ワークを通して、多角的、多面的に物事について考えること、思い込みが刷り込まれてステレオタイプ化した考えでいることに「気づく」ことを促します。集団で意見を出し合うことで、意見の多様性に視点を当て、「どうしてだろう?」と改めて考えてみることは、自分の認識を振り返ることにつながります。

色の異なるシールを使ったゲーム、事例に視点を当てて「なぜ?」を共有するワーク、異文化の共同体で出たクレームを「どちらが言ったのか?」で分類する「サラダボウルのあな」ワーク、絵本を使ったワーク、物語の続きを自由に考えるワーク、などを行い、「異なる部分を認め合う」ことの弊害となる「思い込み」「無意識の癖」「刷り込み」に気がつき、本当の「対等な関係」を築くためのヒントを学びました。

違いを認め合うこと

振り返りのワークでは、参加者全員のいいところに視点を当て、「折り目を付けた用紙」を回して記入してもらいました。今回の活動を通していいと感じたところを書いてもらい、人間関係を作っていくうえで重要な「違いを『認め合う』こと」の重要性を再認識しました。



「なぜ、どうして」を深く考えることで多角的・多面的に物事について考えることができます。



犬だからと言って「わん!」と泣けるようになる話を作らなくてもいい、ということに気づきました。

会議が変わる進め方！

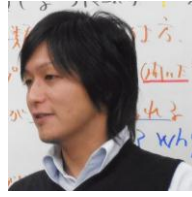
第2回

「コミュニケーション」

～安心感と信頼感を生み出す聴き方～

いちのせき市民活動センター

小野寺 浩樹



地域づくり 支援講座

傾聴と質問で引き出す

「まだ電気がついてる、何かやってるな？」そんな声が聞こえてきそうでした。千厩サテライトには9人の参加者が集まり、なにやらわいわいと話をしています。

「どうして会議に集まるんだろう？」そんな疑問から始まった今回の講座に引き続き、今回は「相手に安心感と信頼感を与え、相手の意見を引き出す」ために必要な「コミュニケーションスキル」に視点を当てた講座を行いました。基礎的な技術を体系的に学び、今回は「傾聴」と「質問」を体感し、学びます。



「場のデザイン」の振り返りをして今回のポイントを学びます。

ゲーム・ワークで「気づく」

「コミュニケーションなんていつもやってるよ」そんな声が聞こえてきそうですが、まずはやってみよう！と「無愛想な聴き方」を体験。相手がよそを見たり、興味なさそうな顔をしたり、話す側も苦戦です。

相手の話をよく理解しようとして、意識的に話を聴くことは、普段の生活でもすぐに実践できる事ですが、傾聴の5つのポイント、3つのコツを学び、さらに質問の2つの使い分けを知って、「興味のある事」を話したり、グループで話をする、自然に盛り上がっていました。



「質問」と「傾聴」を組み合わせ相手の意見を引き出します。

実生活で生かす事が大切

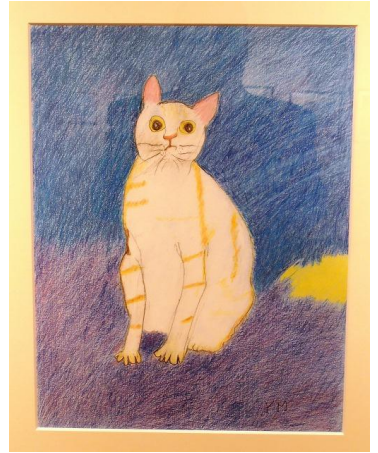
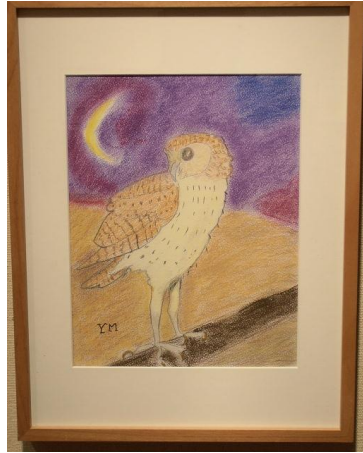
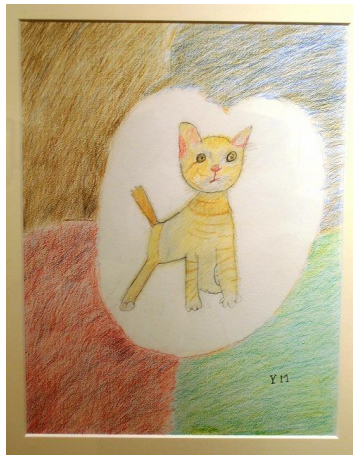
最後に「やってみてどうだったか」をふりかえると「家族内の会話もこんなふうに進めていきたい」「すぐに生かして、すぐにモノにしていきたい」という前向きな意見が出されるところに、「やっているつもりだった」「しゃべりすぎるところを気をつけたい」という気づきの意見も。会議で必要なスキルは、日常生活でも必要とされるもの。会議を円滑に進めるファシリテーションの考え方は、新しいコミュニティを創造するための「基本」になっていくのではないのでしょうか。



気づきと学びを持ち帰ることで実生活での活用が期待できます。



てんとう虫展3



作品には豊かな感性が明るぐきらりと光ります。

てんとう虫・展3 11月5日〜
13日まで一関市ギャラリー彩画堂
で開催され、3年前からてんとう
虫展を開催し、多くの方々が毎年
楽しみに訪れています。

てんとう虫展のきっかけは、ギ
ャラリーの方から「展示期間で空
いている期間があるから展示会を
してみたら？」と声をかけられた
のがきっかけで最初の年の評判が
良く今年で3年目となりました。

工房てんとう虫アート活動は、
工房設立以前から川崎町の障がい
者デイケア教室「てんとう虫教室」
で絵画・調理実習に参加しながら
授産作業と創作活動に取り組んで
いました。そうした活動の中で生
まれた多くの作品が展示されてい
ます。

ある人は、近くにある図書館か
ら動物や風景の写真集を見ながら
描いたり、またある人は、テーマ
をもらおうと数分後には作品が出来
上がっていたそうです。

どの絵をみても、自由さと温かさ
が伝わってきて、動物たちの表情も
とても豊かで色彩豊かな作品となっ
ています。

作品発表の場は他にも「川崎福祉健
康まつり」「心の絵画展」「岩手障害
者文化祭」「両版美術展」などイベン
ト時に展示発表されています。

画像は一部ですが他にも多くの作
品が展示され、マグネットやレター
セットなどのグッズも販売されてい
て、工房を訪ればいつでも購入で
きますし、今からお正月飾り制作(角
松)の準備に忙しくなるそうです。

工房のスタッフさんや利用者さんの
明るい笑顔が印象的な工房てんとう
虫展・3。

11月初旬〜中旬にかけてのいづれ
かの期間で開催予定です。

てんとう虫のブログ

<http://blog.campan.info/agaruguu/>

3連勝で見せた実力

11月5日 連勝を狙うVivaleは岩手県滝沢村総合公園体育館で、Master peace. s と対戦。

前半立ち上がりは、Vivale がやや押されていたものの、相手の猛攻に耐えながらも隙を突くように先制点を奪い、前半を2・0とリードし終了。後半も2点追加し結果は4・0で東北2部リーグでは今季初の完封試合となった。チーム監督兼選手の浅利真氏によると、あえてディフェンスを強化した試合内容との事。1点も相手に奪われることなく得た勝利は、派手さはないが、見ごたえのある試合となりました。

翌週11月13日には岩手県花巻市民体育館で第4節、CROSS COLOURS との対戦をし、前半・後半ともお互いのチーム一進一退の攻防が繰り広げられ先制点を奪われるもすぐに同点に追いつき、直後に逆転に成功。後半には、相手チームの5ファウルで第2PKを獲得、見事ゴールし快勝。

3・2としチームは3連勝となりました。リーグでも単独2位となり、迎えた最終戦、Rosso Tigre AKITA と対戦し5・3と勝利し4連勝で今シーズンを終えました。

来季での活躍へ向けて

今期のVivale は初戦での敗退が最後まで尾を引く形になってしまいました。初戦ではベストメンバーで臨めなかったものの、その後連勝でチームが良い形でリーグ戦を戦ってこれたのは来期に向けて自信へと繋がる結果だと思えます。

Vivale 一関、リーグ戦の次は11月27日全日本選手権となります。



優勢に試合を進めるヴィヴァール

12月のイベント・ボランティア情報

<http://www.center-i.org/>

いちのせきこどもフェスタ2011実行委員会では、子どもたちの環境を守り、世代・地域間の交流を目的とした、大人も子どもも楽しめるイベントを開催します。アンパンマンの映画上映会や全員に当たる抽選会など盛りだくさん！申込不要、参加無料です。

12月25日(日) 10:00~14:30
一関文化センター
☎0191-26-6400

リトルハンズでは、子ども達の遊び相手、簡単な学習のサポートができるボランティアの方を募集しています。昼食と運動できる服装が必要です。ボランティアご希望の方はボランティア保険に加入して下さい。社会福祉協議会で加入できます。

毎週土曜日または学校の長期休業中の10時~16時
リトルハンズ(一関市赤荻字上袋75-5)
☎0191-26-6400

パカポクラブでは、しょうがいを持った子どもたちが馬とのふれあうことのできる乗馬会を開催しています。乗馬会を手伝ってくれるボランティアの方も募集しています。参加を希望する方は申し込みが必要で当日1,000円をお持ちください。

12月25日(日) 10:00~12:00
佐々木牧場(金沢字有壁沢13-1)
☎0191-82-5584

こども教室「風と虹」では、石川公子さんを講師に招き、大人を対象に、免疫力や再生力を高め、安定した心の状態をつくるオイリュトミーワークショップを開催します。参加希望者は当日500円と申し込みが必要。動きやすい服装でお越しください。

12月23日 10:30~12:00、13:30~15:00
川崎生涯学習ステーション
✉kazetoniji@plute.ocn.ne.jp

一関世代にかける橋では、環境の啓発と東日本大震災犠牲者の冥福を祈り、「いちのせき100万人のキャンドルナイト」を開催します。募金活動やマイボトルへのホットドリンクサービス、手づくりキャンドルの配布などを行います。申込不要、無料です。

12月23日(金) 17:00~20:00
あいぽーと
☎0191-23-9721

絵手紙同好会では、水彩絵の具を使用して一緒にお茶を飲み、語り合う絵手紙仲間を募集しています。内陸に避難している方や、若い男性の方など、どなたでもお越しください。参加料は1年間1000円で、画材道具は各自、お子さんの使用していた絵の具セットなどでもよいです。

平日の9時30分~12時
勤労福祉センター
☎0191-52-2722(代表:氏家)



スタッフを紹介します！

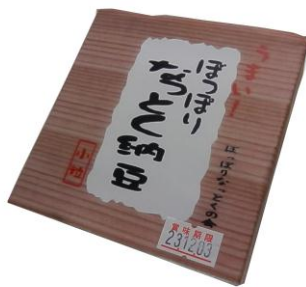
初めまして、岩淵莉絵です。

今月中旬から、いちのせき市民活動センターの一員として活動しています！出身地は一関市川崎町です。好きな言葉は「十人十色」。地域の皆さんのカラーを護りつつ、一関市の未来をみつめていきたいと思っています。まだまだ知らない事ばかりで未熟者ですが、地域の皆さんの力になれるように頑張りますのでよろしくお願いします！

勝手にオススメ！

Vol.1

ぽっぽり
なっとく
納豆



地域の
あれこれ

こんにちは！岩淵です。

スペースをお借りして、勝手に地元のあれこれを気まぐれにご紹介したいと思います！（笑）今回のスポットは東山！皆さんは、東山といったら何を思い浮かべますか？やはり、猊鼻溪の船下りでしょうか・・・！？

船下りも確かに良いのですが、今回はちょ～っと視点を変えて、ある食べ物を皆さんにご紹介いたします！！今回ご紹介するのは、「納豆」です！が、しかし、ただの納豆ではありませんよー！

その名も、「ぽっぽりなっとく納豆」です！こちらは、東山のぽっぽりなっとくの会の方々が、愛をこめて一粒一粒丁寧に仕上げた納豆なんです☆他にも、「干し納豆」や「ピリ辛納豆」もあるので、是非ご賞味あれ！ちなみに、この納豆は数量限定販売（一日15個）なので、早い者勝ちです♪ここでちょっと納豆の豆知識！納豆には、美白効果・骨を丈夫にする効果・悪酔い防止・疲労回復効果・調整作用の効果・老化防止・血液サラサラ効果があるのです！皆さんも、ぽっぽりなっとく納豆を食べて健康な体づくりをしましょう！お求めは、東山町の産直「季節館」へ！

Vol.2

炒め
納豆



川崎保育所の給食のメニューだった炒め納豆。一関市川崎町での唯一のメニュー。川崎町では、川崎保育所に通っている人はみんなが知っている川崎ご当地のもので、過程で、炒め納豆を料理して食べる家も多い。給食の文化から発展して川崎のご当地メニューとして商品化に取り組んでいる。

